

予算のあらまし

～子育て支援の充実を図る～

一般会計 179億円
 特別会計 83億円
 企業会計 24億円
 合計 286億円

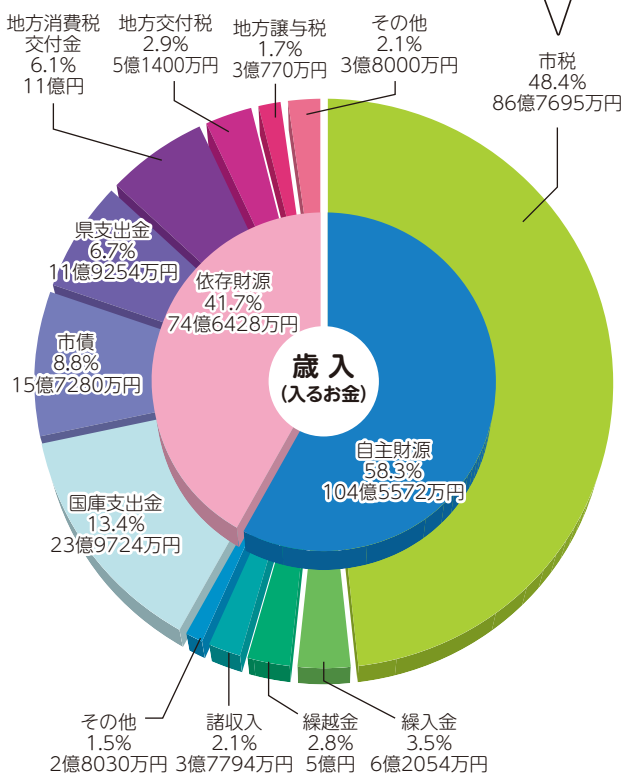
一般会計

自主財源 104億5572万円
 依存財源 74億6428万円

新年度の自主財源は歳入総額の58.3%を占めている。

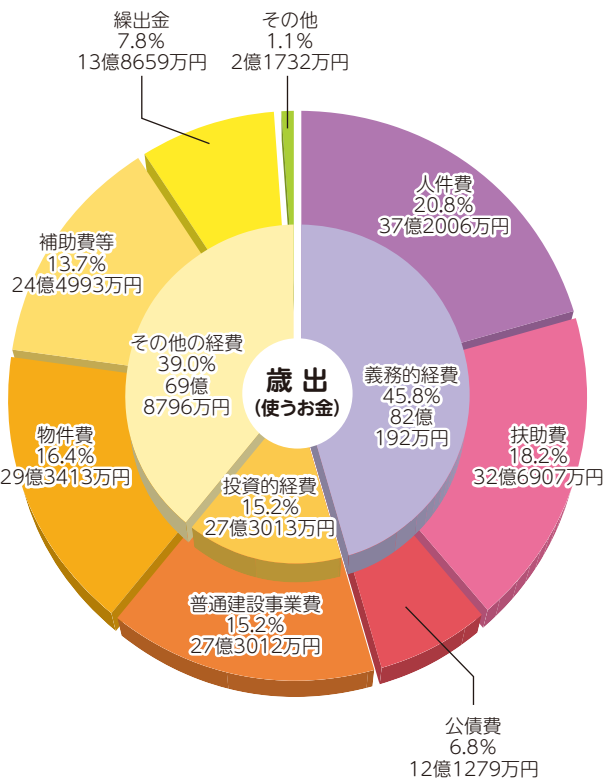
市の歳入には、個人市民税・法人市民税・固定資産税・市たばこ税の市税や繰入金などの**自主財源**(この割合が高いほど財政が安定)と、国・県などから定められた額が交付されたり、割り当てられる収入の**依存財源**がある。

個人市民税	26億4100万円	法人市民税	4億2320万円
固定資産税	49億500万円	交付金	2億6704万円
軽自動車税	1億1940万円	市たばこ税	3億2000万円
入湯税	130万円		



義務的経費 82億192万円
 投資的経費 27億3013万円

歳出を性質別経費に応じて分類すると人件費、扶助費、公債費はその支出が義務づけられ、任意に節減することができない**義務的経費**(この割合が小さいほど財政にゆとりがある)と、普通建設事業費や災害復旧事業費などの**投資的経費**がある。



また、市債全体では前年度比10・1%の増で、主なものはJR・名鉄弥富駅自由通路等の整備事業に伴う道路橋梁事業債である。歳出では、弥富北中学校や西部保育所の長寿命化改良事業、総合福祉センター管理運営事業や南部コミュニティセンター管理運営事業での、特定天井撤去等改修工事など投資的経費が、前年度比36・3%の増となっている。また、子育て支援として、中学校進学にあたり、家計の負担を軽減するため、入学祝金支給事業の関連予算のほか、防災・減災対策に重点的な予算配分を行った。

令和5年度の当初予算は一般会計約179億円、特別会計(4会計)で約83億円、企業会計約24億円、総額は約286億円、前年度比3・9%の増となった。歳入においては48・4%を占める市税収入が堅調であり、固定資産税が増加するなど、市税全体では前年度比3・7%の増となる見込みである。